



〈雑録〉理想的貨幣果シテ得ラレルベキヤ(2)

海老原, 竹之助

(Citation)

經濟學商業學國民經濟雜誌, 16(5):879-888

(Issue Date)

1914-05

(Resource Type)

departmental bulletin paper

(Version)

Version of Record

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/00052212>



理想的貨幣果シテ得ラルベキヤ (其二)

商學士 海老原 竹之助

四

貨幣ノ市價ヲ確定不動ノモノタラシメンガ爲メニ金ノ使用ヲ繼續シナガラ唯其購買力ノ變動ニ從ツテ支拂フベキ金ノ量ヲ相違セシメントスル稍尤モラシキ一ツノ提案ガアル、即チジエボンズ氏ガ「價值ノ表的標準」(a tabular standard of value) ナル名目ノ下ニ公ニシタ所ノモノデアル、即チ其價格ノ變動ガ互ニ影響スルコトナキ凡ソ百餘種ノ貨物ヲ選ビ其金ニ對スル價格變動ノ割合ノ幾何の平均ヲバ對數ニヨリテ算出セントスルニアルノデアル (Money & Mechanism of Exchange, p. 332)

思フニ此提案ノ中ニハ其平均市價ヲ以テ貨幣ニヨリテ表ハサレタル債務辨濟ノ標準タラシメントスル提案ヲ含ムモノデアルカラ例ヘバ一八九五年ニ於テ一九〇〇年ニ一千弗ヲ支拂フベシト云フ約束手形ヲ書イタ場合ニ若シ一九〇〇年ニ至リテ一千弗ノ貨幣ハ一八九五年ニ於ケルヨリ總テノ貨物ニ對シテ平均四分ノ一ダケ多額ヲ購買シ得ルコト、ナリタル時ハ其手形ノ受取人ハ一九〇〇年ニ於テ其一千弗ノ債權ニ對シテ八百弗ヲ以テ満足セザルベカラザルニ至ルノデアル、カクテ此提案ノ辯護者ノ云フ所ニ依レバ其債權者ハ其受入レタル金額ニハ相違アルケレドモ其購買力ニ就テ見レバ貸付ケタル時ト受入レタル時トハ同一デアルト云フノデアル、若シ又以上ト反對ニ貨幣ノ購買力ガ貨

物市價ノ上騰ニヨリテ其四分ノ一ヲ減ジタル場合ニハ債權者ハ貸付ケタル一千弗ノ代リニ二千三百三十三弗ヲ受入ル、コト、ナルノデアルト云フノデアル。

ジエボンズ氏ハ揚言シテ居ル「此方法ノ實行ハ左迄困難デハアルマイ若シ一度議會ニ於テ之レガ爲メニ委員會ヲ任命シタナラバ其仕事ハ恰カモ一定ノ規定ニ從ツテ事務ヲ執ル計理士ノ仕事ト大差ハナイデアラウ」ト更ニ其效能ヲ述ベテ左ノ如ク云ツテ居ル。

「カ、ル標準ハ貨物ノ價格減却ヨリ生ズル個人及公共團體ノ收入ノ減損ヲ轉ジテ確定不動ノモノタラシムルカラ從ツテ總テノ社會的關係ヲシテ從來ヨリモ一層堅固ナルモノタラシメルシ又市價ノ變動ノ上ニ成立スル所ノ投機ハ今日盛ニ行ハレテ居ル所デアルガ之レガ爲メニ大ニ減殺セラルデアラウ」ト

思フニ此方法ハ曩ノ金屬貨幣ヲ全廢セントスル方法ニ比シテ幾分カ科學的基礎ヲ有スルニ至ツタケレドモ而カモ尙ホジエボンズガ想像スルヨリモ實行上ノ困難ハ大デ其實益ハ少ナイ様デアル、更ニ其表的標準ナルモノハ例令之レヲ算出スルコトガ出來ルトシテモ箇々ノ總テノ場合ニ於テ或ハ全體平均ノ場合ニ於テ果シテ公正デアリ得ルカハ未ダ明カデナイ、今若シ貨物ノ市價ガ下落シテ金ノ購買力ガ増加シタル場合ニ於テソレガ若シ機械ノ發明ニヨリテ勞働ノ效果ヲ大ナラシメタルガ爲メナリトスレバ一八九五年ニ一千弗ヲ有シテ居ツタ者ガ若シ之レヲ他人ニ貸付ケナイデ自ラ所有シテ居ツタラ失ハナイモノガ唯他人ニ貸付ケタルガ爲メニ何ガ故ニ其増加シタル購買力ヲ失ハチバナラ

ナイカハ理由甚ダ不明デアル、又貨幣ノ購買力ノ増加ニヨリテ全社會特ニ月給取及勞働者ノ如キ一定ノ收入ヲ得ル者ガ利益ヲ受クルニ反シ何ガ故ニ金ヲ他人ニ貸付ケタル者ハ社會ノ他ノ者ト異ナリタル待遇ヲ受ケテ其増加シタル購買力ヲ失ハチバナライカモ理由不明トナル。

更ニ又貨物ノ市價ニ一般の騰貴ノアリタル場合ニ何ガ故ニ金ヲ他人ニ貸付ケタル者ガ其當初貸付ケタルモノヨリ多クノ金ヲ得ベキカモ明カデナイ、若シ市價ノ騰貴ナルモノガ社會全體ノ生産力ノ減退シタルガ爲メナリトスレバ之レガ爲メニ蒙ムル社會全體ノ損失ヨリ逃レテ獨リ金ヲ貸付ケタル者ノミ利益ヲ受クルト云フハ實ニ理由ナキコト、云ハチバナライナイ。

尤モ現今ノ産業組織ノ下ニ於テハ市價ノ變動ハ多クノ場合ニ於テ生産力ノ減退ニヨルノデハナイト云ヒ得ル、然レドモ市價ノ變動ハ主トシテ信用ノ狀態及其貨物ノ需給ノ關係ヨリ起リ來ルコトハ言ヲ俟タナイ而シテ市價大體ノ平均ハ貨幣ノ支拂高ト貨幣ノ比較的購買力トヲ按配調製スルコトニヨリ得ラル、トシテモ平均市價ノ公正ナルコトハ箇々ノ場合ニ於ケル公正トハ全ク同一デナイ、一方ニ失フ者ガアレバ他方ニ得ル者ガアルカラ茲ニ平均ヲ見ルノデアル、茲ニ於テ平均ト云ヘバ甚ダ公正ナルガ如キモ實ハ互ニ利害相反スル數多ノ不正ノ集合ニ過ギナイ恰カモ大キナ足ヲ有スル者ト小サナ足ヲ有スル者ニ向ツテ同ジ大サノ靴ヲ分配スルガ如キモノデ其中ノ何人モ適當ノ靴ヲ見出し得ザルト同様デアル。

全體ノ貨物ニ對スル貨幣ノ一般の購買力ノ變化ハ箇々ノ貨物ニ對スル購買力ノ變化ト同一デハナ

イ、一八九五年ニ一千弗ヲ他人ニ貸付ケ一九〇〇年ニ至リテ其代金ヲ以テ家屋ヲ購ハント欲シタル者ガ一九〇〇年ニ至リテ八百弗ヲ受取りテ自ラ償ハレタリト感ズル者ハアルマイ、蓋シ貨物ノ平均市價ガ四分ノ一ヲ減ジタリトスルモ彼レガ購ハントスル不動産ノ市價ガ何等ノ下落ヲ見ザル場合ガアルカラデアル、固ヨリ現時ノ金貨幣制度ニモ種々ノ缺點ノアルコトハ證明ガ出來ル、然シ新ナル方法ヲ以テ之レニ代ヘントスル者ハ其方法ガ現制度ノ缺點ヲ除去シ得ルモノデナケレバナナイ。

五

金ハ本質上絕對的價值 (absolute value) ノ標準ニアラズシテ相對的價值 (relative value) ノ標準デア
ル、而シテ金ノ供給ニ甚ダシキ變動ガナイカラ先ヅ現今實際ニ於テ得ラル、モノ、中ニテ最モ完全ナルモノトシテ價值ノ標準トナツテ居ルノデアル、需要ノ變動ハ他ノ貨物ニ對スル生産及消費ノ變動ノ反射デアツテ實際ニ於テハ生産ヲ支配スル要素ノ一ツデア
ル、若シ此性質即チ絕對的價值ノ標準ニアラズシテ相對的價值ノ標準デア
ルト云フ性質ガ一般ニ認識セラル、ニ至レバ貨物ノ價值ノ變化ヲ金ソレ自身ニ固有ナル價值ノ變化ニ歸セシムルノ必要ハナクナルノデア
ル、即チ其變化ハ一ツノ貨物ト他ノ貨物トノ關係ノ變化ニ歸スベキモノデア
ル。

若シ或人ガ或貨物ヲ抵當トシテ金ヲ貸ラントスル場合ニ於テ若シ其抵當物件ノ大ナル割合ニ借入レタル金高ノ少ナキ場合ニハ彼レハ金ノ量又ハ金ニ對スル一般的需要ノ如何ヲ考察スルヨリモ寧ロ自己ノ生産品ヲ下落セシメタル原因又ハ其競爭者ヲ刺戟シテ生産過剰ニ陷ラシメ從ツテ市價ヲ下落

セシメタル眞ノ原因ヲ考ヘントスルノ傾向ヲ有スルモノデアル、カ、ル傾向ハ金貨ノ自由鑄造ノ行ハレ且ツ自由鑄造ハ主トシテ割引歩合ト有價證券及其輸出入品ノ市價トノ影響ヲ受クルガ如キ確固タル貨幣制度ノ運用ノ場合ニモ之レヲ見ルコトガ出來ル、從ツテ抵當物件ノ増加ニ關シテ起リ來ル不平ノ主ナルモノハ多クノ場合ニ於テ不換紙幣ノ發行ニヨル貨幣ノ自然法ニ對スル政府ノ干涉ニ歸スベキモノデアル、カ、ル紙幣ノ發行ハ市價ノ變動ヲ惹起シ、物ノ價值ヲ攪亂シ遂ニ惡影響ヲ永ク後世ニ及ボスモノデアル、茲ニ於テ金ノ生産額ノ變化ニ伴フ金ノ交換價值ノ變化ガ果シテソレ自身惡影響ヲ及ボシタリヤ否ヤハ甚ダ疑問トナラザルヲ得ナイ。

然レドモ人ノ智力ガ果シテ永キ期間ニ涉リテ公正ヲ保證シ得ル様ナ完全ナル標準ヲ工夫シ得ルヤ否ヤハ疑問デアル、例令複本位制ナルモノガ短期間ノ貨幣價值ノ變動ヲ防ギ得ルトシテモ永キ期間ニ涉リテ公正デアリ得ルコトハ到底望ミ得ナイ、標準ノ基礎トシテ已ニ選ビタル百餘種ノ貨物モ時ノ經過ニ伴ツテ其中ノ或物ハ不用トナリ他ノ新タナルモノヲ以テ代ヘチバナラナクナル、又例令絶エザル訂正ニヨリテ其貨物表ハ依然使用シ得ルトスルモ機械及新生産方法ノ發明ニヨリテ各貨物ノ作成ニ要スル勞働原價ノ割合ハ常ニ變動シテ止マナイノデアル。

若シ又一日ノ勞働ヲ以テ價值ノ標準トシタル場合ニ於テモ同様デアル若シ時ノ經過ニ伴ツテ勞働ノ生産力ガ倍加シタル場合ニ於テハカ、ル勞働ハ遂ニ金ノ貨手ニ對シテ多額ノ生産品ニ對スル支配權ヲ與ヘル結果トナリ恰カモ金ノ購買力ノ増加シタル場合ト同一トナルノデアル。

延期支拂ニ對スル勞働標準——一日ノ勞働ニ對スル貨幣價值ノ比較的不變ハ多數學者ノ裏書スル所デアツタガ未ダ何人モ之レヲ以テ價值標準トナスベキ具體的方法ヲ提出シタモノハナイ、リカルド氏ハ揚言シタ。

「若シ或ル一箇ノ貨物が現在及將來ニ於テ其生産ニハ常ニ同一量ノ勞力ヲ要スルモノナルコトヲ發見セラレタランニハ其貨物ハ常ニ不變ノ價值ヲ有シ從ツテ他ノ貨物ノ價值判定ニ對スル有要ナル標準トナルモノデアル、然レドモ吾人ハ未ダカ、ル貨物ノ存在スルヲ知ラズ從ツテ價值ノ標準ヲ定ムルコトガ出來ナイノデアル」ト

思フニ金貨ハ其生産額ノ變動及貨幣量ト取引高トノ關係ノ變化ノ影響ヲ蒙ムルガ故ニ理論上多少ノ缺點アルヲ免レナイガ而カモ實際上ノ運用ニ至リテハ自餘ノ總テノ方法ヨリモ割合ニ公正ヲ期シ得ルト思フワルシユ氏ノ如キハ「貨幣ノ鑄造權ヲ留保スルコトニヨリテ、政府ハ總テノモノニ於ケル貨幣ノ交換價值ヲ支配スルコトガ出來ルト信ゼラル」ト揚言シナガラ未ダ之レヲ實際ニ試ミヤウトハ企テナカツタ、否ナ雷ニ企テナイ許リデナク貨幣ノ一般の交換價值ノ變化ヲ調節セントスル企ハ「未ダ考案中デアルガカ、ル企ハ恐ラクハ來ルベキ數世紀ノ間何人モスル者ハナカラウト」明白ニ云ツテ居ル、(The Measurement of General Exchange Value, p. 495)

六

思フニ賣買取引ハソレ自ラ此變化ニ對スル有效ナル防禦手段ヲ見出シテ居ル即チ貨幣ノ購買力ノ

變化ガ豫想ノ出來ル場合ニ於テハ直チニソレガ廣キ世界ノ貨幣價值ニ影響ヲ及ボスコト恰カモ有價證券ノ價值ニ影響ヲ及ボス事情ガ起レバ直チニ之レガ證券市場ニ影響スルガ如クデアル、思慮アル人ハ自ラ現在負フ所ノ負債ノ將來ノ原價ヲ計算スルニ躊躇シナイ、營利ノ念ニ燃エナガラカ、ル計算ヲナス人々ガ世界ヲ通ジテ何萬何億人アルカモ知レナイ、サレバ一般商品ノ市場、貨幣ノ市場及證券市場ニ於テ彼等ノ營利的判斷ノ結果ハ直チニ市價トナツテ現ハレ來ルノデアル。

貨幣ノ購買力ノ時ニヨリテ異ニスルコト及其變化ハ商品ノ生産量ニ變化ノアル場合ニ更ニ甚ダシイコトハ思慮アル人々ノ直チニ認識スル所デアルガ然レドモ國家ノ仲介ニヨリテ來ルベキ變化ヲ豫想シテ直チニ貨幣支拂ニ關スル條件ヲ變ズルコトハ例令シモン、ニユーコム氏ガ「一弗ノ價值ヲバ毎月中央政府ノ定ムル所トナシ之レヲ一般公衆ニ告知セシム」ト云フテモ到底實行シ得ル所デハナイ(Principle of Political Economy, p. 213)若シ金ニ對スル契約ヲ調節シ誤算或ハ不測ノ出來事ニ對スル各個人ノ利益ヲ保護スルノガ國家ノ機能デアルトスレバ國家ハ何ガ故ニ凶作ノ場合ニ於ケル小麥ノ引渡或ハ「ストライキ」ノ起ツタ場合ニ於ケル石炭ノ引渡ニ關スル契約ノ履行ニ際シ貨物ノ交換價值ノ差異ヨリ生ズル人民ノ利益ヲ保護シナイノカハ理路甚ダ不明トナツテ來ル。

思フニ貨幣ノ購買力ノ變化スルノハ貨幣ガ總テノ商品中最モ交換力ノ大ナルモノデアリ、且ツ總テノ貨物ト交換ガ出來ルカラデアル、交換力ノ大小ハ商品ノ價值ヲ決定スル最モ重要ナル要素デアツテ又貨幣ニヨリテ表ハサレタル市價ハ貨物ノ交換力ヲ登錄スルモノデアアル、建物ノ流行スル場合

ニハ鐵材ハ貨幣トノ交換力が大デアツテ從ツテ高イガ流行一度止メバ直チニ下落スル、コ、ニ於テ貨幣ハ總テノ貨物ノ交換力ノ割合ヲ定ムル標準デアツテ從ツテ人工ヲ以テ貨幣ト貨物ノ交換力ヲ確定不變ノモノタラシメントスルノハ貨幣ノ有益ナル此作用ヲ奪フモノト云ハチバナラナイ。

表的標準ヲ作ルト云フ計畫ニ關シテハジエボンス氏自ラモ此計畫ガ「貸借兩者ノ間ニ或種ノ混雜ヲ來シ又時ニハ計算ノ起算日ニ關シテ種々ノ論爭ノ起ル」コトアルベキヲ明白ニ認メテ居ル、然シ此計畫ハ當ニ貸借兩者ノ間ニ「或種ノ混雜」ヲ惹起スルノミナラズ此混雜アルガ爲メニ資本ノ所有者ヲシテ長期ノ貸付ニハ此表的標準ノ不確實ニ對スル保險料トシテ多額ノ打歩ヲ徵收スルニアラザレバ其貸付ヲ拒ムニ至ラシムルデアラウ、蓋シ一般人ニトリテハ一千弗ノ貸金ガ八百弗トナルコトガアリ又一千三百三十三弗ニナルコトガアルト云フノハ一千弗ノ貸金ガ一千弗デ戻ル場合ニ比シテ一ツノ大ナル投機デアルカラデアル、價值ノ標準ハ確定不變ノモノデアルト云フ人ノ心ハ法律ノ力ニヨリテ金ト貨物トノ關係ガ變化シタカラ從ツテ支拂フベキ金額モ増減セヨト云ツテモ容易ニ落付クモノデハナイ。

又此方法ハ總テノモノヲ無限ニ不確定ノモノタラシムルカラ從ツテ投機ヲ滅殺スルデアラウト云フノハ或意味ニ於テ眞デアルカモ知レナイ然シ此事實ハ眞面目ナル先見アル事業家ノ眞面目ナル事業ヲ阻止スルコト、ナル、蓋シ其努力及先見ノ結果ハ利益ハ悉ク之レヲ社會ノ全員ト平分スルコトナルカラデアル、資本ニ對スル利子歩合ノ高キハ金ヲ以テ最後ノ價值ヲ表ハスモノデアルト云フ

人ノ先天性ヨリ來ルモノデアルコトヲ知ラチバナラナイ。

他ノ貨物ヲ用フル代リニ金ヲ以テシタト云フコトハ延期支拂ノ媒介トシテ金ガ最モ適當ナルコトヲ發見セラレタルガ爲デアル、法律ヲ以テ他ノ貨物ヲ以テ支拂フコトヲ定メタル場合モアル又時ニ其レガ實行ヲモ見タコトモアルガ最モ多クノ場合ニ於テ金ガ選定セラレタト云フノハ總テノ貨物中金ガ最モ交換力ノ大ナル許デナク其購買力ノ變化ハ或程度マデ正確ニ計算シ得ルガ爲メデアル而シテ過去二千五百年ノ間ヲ通ジテ金屬ガ如何ニシテ價值ノ標準トナルニ至ルノ傾向ヲ有シテ居ツタカハニコルソン氏ニヨリテヨク認メラレテ居ル。(Principles of Political Economy II. p. 978 參照)

七

要スルニ支拂ノ用具トシテ金屬以外ノ貨物或ハ勞力ヲ用キントスル計畫ノ重ナル缺點ハ需給ノ不確實ナルヨリ起リ來ル避クベカラザル「不確定」ノ要素ヲ「交換」ヨリ除去セント企テタ所ニ在ル、而カモ此缺點ニ對シテハ金屬貨幣ハ自働的平衡車トナルノデアアル、貨物ノ生産過剰ヲ來シタ場合ニ市價ノ低落ヲ見生産ノ不足ナル場合ニ市價ノ騰貴ヲ見ルハ例令其現象ガ一貨物ニ起リテモ又全體ノ貨物ニ及ボシタ場合ニモ當然ノコトデアツテ敢テ怪シムヲ要シナイノミナラズゴノ生産過剰ノ場合ニ市價下落スルガ故ニ生産ノ制限トナリ貨物ノ輸出トナリ、供給ノ縮少トナルノデアアル又生産不足ノ場合ニ於ケル市價ノ騰貴アルガ故ニ外國品ノ輸入トナリ新事業ノ勃興、資本ノ投下トナリ遂ニ資本ヲシテ最モ效果ノ大ナル方面ニ向ハシムニ至ルノデアアル、サレバ理論上金屬貨幣ノ價值ヲシテ一定不變ノモノタラシムルコトハ甚ダ望マシキコトデアルケレドモ從來提出セラレタルモノハ一トシテ

其目的ニ添フモノハナイ、而シテ門外漢ノ多數ニヨリテ信ジラレタルガ如クニ若シ金ノ内容の價值ガ確定不動ノモノタラシムルヲ得タナラバ其變動ヨリ來ル惡影響ハ疑モナク除クコトガ出來ルケレドモ抽象の意味ニ於ケル價值ノ不變ハ決シテ金ト他ノ貨物トノ關係ノ變化ヲ防止スルモノデハナイサレバ各種貨物ノ需給ノ變動及各貨物ニ對スル嗜好期節趣味ノ變化ヨリ起リ來ル原因ハ或ル瞬間ニ於ケル貨物ノ市價ヲシテ次ノ瞬間ニ於ケル市價ト同一ナラシメナイノデアル。

サレバ或ル貨物ガ其生産原價ヲ支拂フニ足ル丈ケノ金貨ト交換シ得ルヤ否ヤハ廣キ意味ニ於テ其貨物ノ生産ヲ廢棄スベキヤ將タ繼續スベキヤ又之レニ對スル代用品ガ發明生産セラル、ヤ否ヤ又資本ガカ、ル貨物ノ生産ニ對スル機械ノ發明ニ誘投セラル、ヤ否ヤヲ決スル要素トナルモノデアル、且ツ例令、抽象の意味ニ於ケル金ノ價值ガ毎年同一デアツテモ又貨物ノ全量ガ毎年同一デアツテモ或ハ又其貨物ヲ生産スルニ要スル勞力ノ量ガ毎年同一デアツテモ其當時ニ於ケル信用狀態ノ如何ニヨリテ金ニ對スル貨物ノ交換價值ノ變化ハ免レナイサレバ理想的貨幣ニ對スル要望ハ決シテ要望スベキモノデハナイ、若シ要望シタナラバ遂ニ得ラル、デアラウ若シ之レヲ得タナラバ金貨幣ト云フ今日吾人ガ有スル所ノ有益ナル晴雨計ヲ失フニ至ルノデアル、且ツ又勞力ノ一定量ハ時ヲ異ニシテモ金ノ一定量ヲ支配スルト云フ計畫ノ實現モ望マシクナイ、何トナレバ若シ其勞力ガ社會ニ何等有益ナラザル物ノ生産ニ費サレタル場合ニ於テ之レニ對シテ更ニ有益ナル物ノ生産ニ向ハシメヨト云フ忠告ヲナスモノハ其勞力ニ對シテ與ヘラレタル金貨ノ減少ヨリ外ナイカラデアル。(完)(大正二年ノ暮、天下茶屋ニ於テ)